
ありがとう ～ただあなたへ～

雨野知晴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありがとう　　～ただあなたへ～

【コード】

N7199Q

【作者名】

雨野知晴

【あらすじ】

決して交わることのなかった思いの独白

(前書き)

久しぶりの投稿です。

事前に言わせていただきますと今回は悲恋物？です。

苦手な人はお手数をお掛けしますが戻るボタンかタブの場合は閉じるボタンを押してください。

それでも良い方はそのままお読みください。

楽しい日々でした。

私はあなたに出会い、話、短いけど一緒に過ごした日々
本当にただ感謝です。

あなたからしたら私はただの友達でいたかったんだよね。
私もそれは最初から気が付いていたよ。

あなたは昔辛い思いをしていたから私は思いを告げずに
この思いに蓋をして友達としているよ。

これは私が弱いからただ言えなかった思いなんだよ。
そして、あなたを傷付けたくないから私は言わない。

私もあなたとは友達としてもいたいからだから…
私は弱虫だ。

この心地いい関係を壊したくなかったから
ただ逃げているだけ。

そんなこと自分でもわかってるんだ。

けど一度思いを伝えようと思って言おうと口を開きかけた時の
あなたの悲しい顔を見たら何も言えなくなっただ。

私は思いを伝えなかったことに後悔する。
そんなことわかってるんだ。

けど、あなたを気づつけてまで思いを伝えたくない。
私は思いを伝えてあなたの傷ついた顔見たくないんだ。

あなたが笑っている顔をいつまでも見ていたいから
傷ついて後悔してそして悲しむのは私だけでいいから
だけどこれだけは言わせて欲しいんだ。

あの時傷つけてごめん
そして、ありがとう

あなたとは一生友達でいたいから

私は思いを告げない。

友達でいたいけど私の思いがあふれてしまいそうになるから
私はあなたの前から消えよう。

そして、あの日々の思いを胸にしまい
鍵をかけて忘れてしまおう。

私についた傷を消してしまいたいから

もう二度と誰かに話すことはない。

最後にあの日々をくれたあなたにもう一度言わせてもらいたい。

ありがとう

あなたに幸せが訪れますように祈っています。

(後書き)

今回は私の過去に有ったことを元に短いながらも書いてみました。
この決断は未だに後悔することがあります。
しかし決して間違っているとは思いません。
恋愛には色々な形があり色々な別れがある。
あの懐かしい日々は今本当に感謝しているから
今更ながら感謝の思いが告げたくなつたから
なんとなく書いてみました。
感想が分かれる作品だと思いますがここまで読んでくださった方々
に本当に感謝です。
ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7199q/>

ありがとう ~ただあなたへ~

2011年10月5日11時51分発行